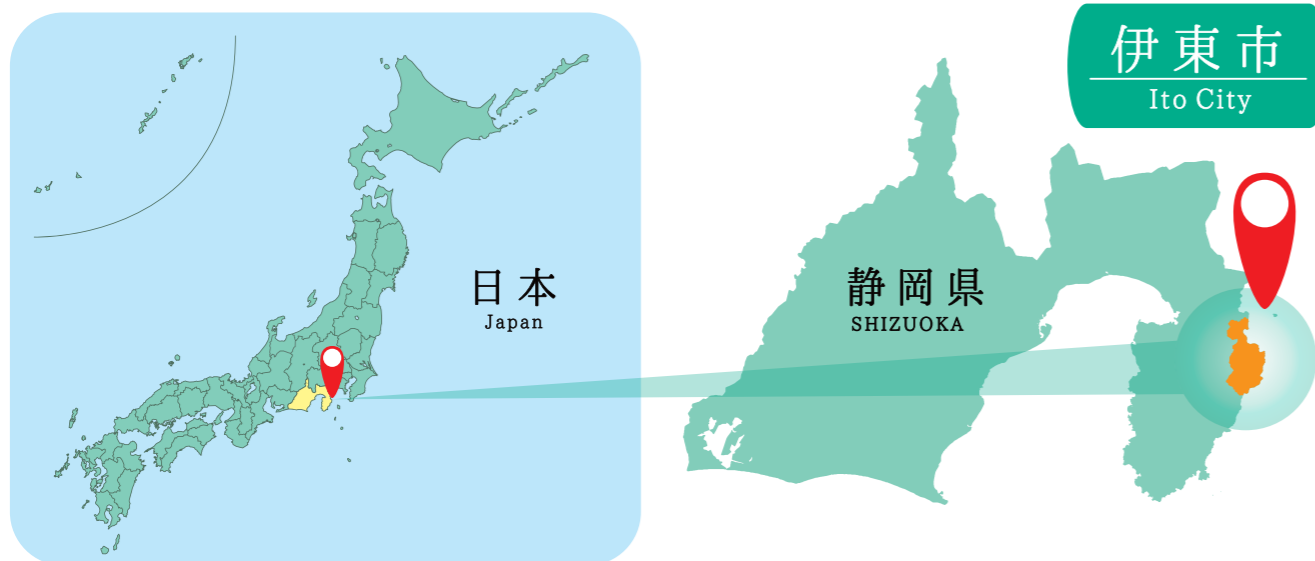


西に天城山系、東に相模湾を臨み、市域の約45%が国立公園区域に指定されています。海と山に囲まれた自然の景勝を生かした、明るく美しい国際観光温泉文化都市として躍進をつづけています。

Ito City has the Amagi Mountains in the west and Sagami Bay in the east. About 45% of the whole city is designated as a national park. Surrounded by a beautiful ocean and breathtaking mountains, Ito has been developing as a City of International Tourism and Hot Springs Culture.



基本データ

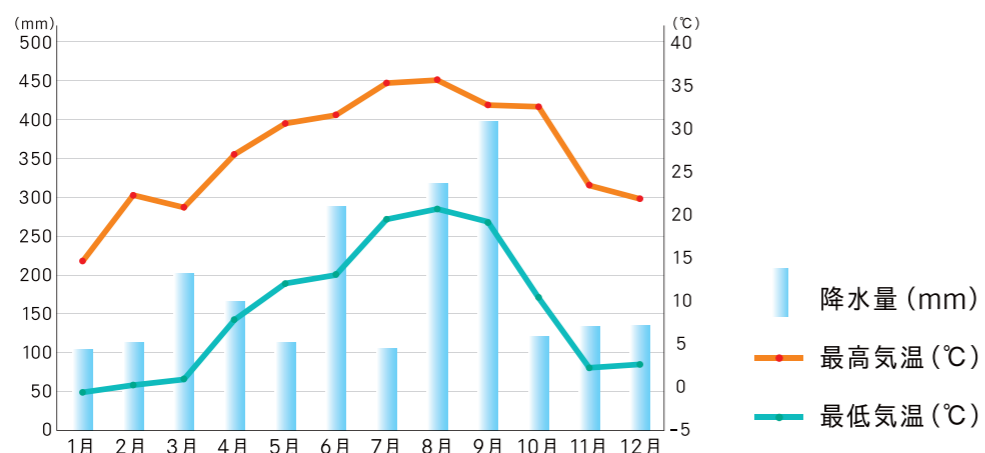
面積 124.10 km²
 広ぼう 東西 10.45 km
 南北 20.45 km

人口・世帯 (平成29年4月現在)

人口 70,330 人
 男 33,111 人
 女 37,219 人
 世帯 35,368 世帯

気象概況

平成28年1月～12月 年間平均気温17.1℃



市章

昭和23年4月20日制定

図案化したひらがなの「い」を10個円型に配置して「いとう」を表しています。太陽に恵まれた豊かな自然と円満な市民性、平和なまちを望む市民の願いを象徴しています。



【市の花木】つばき

昭和42年8月10日制定

市制施行20周年を記念し、市民から公募し、選考委員会を経て制定されました。



【市の鳥】イソヒヨドリ

平成9年8月10日制定

市制施行50周年を記念し、伊東市の緑豊かな風土と自然環境を大切にする心の象徴として、市内で見ることができ、姿・声が美しく、多くの人に親しまれる鳥として制定されました。



市議会

市議会は20人の議員で構成されており、3つの常任委員会を設置しています。年4回開催される定例会のほかに、必要に応じて臨時会が開催されます。(総務委員会 8人・観光建設委員会 6人・福祉文教委員会 6人)

「湯いづる国＝伊豆」の東に位置するところから起こったといわれる我がまち伊東は、明治22年の町村制施行により近隣16か村が伊東、小室、宇佐美、対島の4村に統合され、自治体として発足、同39年伊東村は、町制をしき伊東町となりました。

昭和13年、国鉄伊東線の開通により“東京の奥座敷”とよばれる近代的な温泉地へと変貌をとげ、同22年8月10日伊東町と小室村が合併し、伊東市が誕生しました。さらに、同30年には、宇佐美、対島村とも合併、今日に至っています。

Ito is located to the east of Izu. Izu is named after the old Japanese word "izuru," which means "spring" in Japanese (Izu = hot spring country).
 In 1889, sixteen neighboring villages were united to make four villages (Ito, Komuro, Usami and Tajima). In 1906, Ito Village was renamed Ito Town.
 In 1938 with the opening of the National Railway Ito line, the town became a modern hot spring resort area and subsequently called an "annex to Tokyo." Then on August 10th, 1947, the towns of Ito and Komuro were combined, giving birth to Ito City.
 Finally, in 1955, the neighboring villages of Usami and Tajima were integrated to create the present city of Ito.